



富士小山工場

- 本社所在地：神奈川県横浜市中区
- 事業概要：アトランティックサーモン
陸上養殖事業
- 常時使用する従業員：63名
(2026年2月時点)
- 現在の売上高：14億円
(2025年12月期)
- 法人番号：4010401131397
- Web：
<https://ja.proximarseafood.com/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



CEO(最高経営責任者)
ヨキアム ニールセン

新鮮で上質な環境に優しい陸上養殖水産物の国産化を実現

“日本初”の陸上養殖アトランティックサーモン「FUJI ATLANTIC SALMON」等の生産量拡大を通じ、輸入よりも新鮮かつ上質な国内産の水産物を日本の家庭へ届けることで、食糧の安全保障問題解決、タンパク源の国内自給率向上に貢献すると共に、生産過程で生まれる副産物を有効活用することで環境に優しい養殖を実現し、ESG/SDGsの実現、CO₂排出量削減を目指します。また、当社の取組みを産官学連携や地方雇用機会の創出により地域経済の活性化に繋げると共に、従業員の待遇や働き方の改善に取り組むことで長期的に持続可能な事業を構築することを重視し、持続可能な方法で生産された水産物をアジア地域に提供するリーダーになることを目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の売上高100億円の達成に向け、まずは2028年までに富士小山の第一工場で養殖体制の強化と生産過程で生まれる副産物を有効活用した新たなビジネスの開拓により売上80億円を目指す。その後、第一工場の安定生産が確立次第、シームレスに第二工場建設に着手することで、2032年に売上100億円の達成を実現する。その後、第三工場を建設・稼働させることで、2035年に売上高220億円を目指す。

課題

- ・アトランティックサーモンの安定的な養殖体制の確立
 - ・養殖体制増強による生産量の拡大
 - ・電力や水処理や飼料コスト等の費用削減による利益率向上
 - ・製造過程で排出される魚糞や内臓、骨など副産物の有効活用
 - ・万が一に備えた海外販売網の確立
- ※国内大手商社である丸紅株式会社と独占販売契約を締結しているため在庫リスクは低い

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・世界最大のアトランティックサーモン産出国であるノルウェーの親会社のノウハウを活かした閉鎖循環型陸上養殖方式の安定生産体制の実現
- ・第二工場建設による生産体制の増強
- ・産官学連携と設備投資により、副産物である魚糞を乾燥させて肥料原料として販売するビジネスモデルの実現
- ・「FUJI ATLANTIC SALMON」ブランドを活かした海外販売

実施体制

- ・親会社、当社の創業者であるCEOを筆頭に2028年までに第一工場のタンクをすべて安定稼働
- ・2027年～2028年を目処に第二工場の選定・建設を開始し2031年から第二工場の稼働開始
- ・一般財団法人マリンオープンイノベーション機構や静岡県工業技術研究所、日本大学短期大学部等との連携及び設備投資により、魚糞肥料製造販売事業や副産物による新規食品開発事業を具体化
- ・“FUJI”のブランドを活かして国内のみならずアジア地域への販路拡大を展望